

芸術計画 超京都

# 川底に眠る陶片の蘇生プロジェクト ながれながれて～高瀬川 東九条～

経過報告と展示

2022年2月4日(金)～6日(日)

13～19時・最終日17時まで

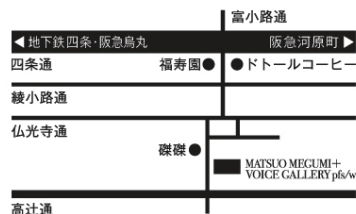
- \*感染症に関する社会状況を憂慮し、3日間のみ的一般公開とします。  
予約不要ですが、1度に場内のご来場者が5人以上になった場合は、  
屋外で入場をお待ちいただく場合があります。  
ご来場の際には、手指消毒とマスク着用にご協力ください。
- \*今回の一般公開後、別会場での公開も計画中です。  
場所・日程は未定ですので、info@chokyoto.comへお問い合わせください。

主催：芸術計画 超京都

会場：ヴォイスギャラリー

協力：サイネンショー、荒木桃香、伊賀春香、さとう大

\*京都府文化力チャレンジ補助金事業



MATSUO MEGUMI+  
VOICE GALLERY pfs/w  
〒600-8061 京都市下京区富小路通  
高辻上る筋屋町 147-1  
147-1, Sujiya-cho, Tominokoji-Takatsuji-agaru,  
Shimogyo-ku, Kyoto-city, 600-8061  
Tel.075-341-0222

www.voicegallery.org

川底に眠る  
陶片の蘇生プロジェクト



経過報告と展示  
高瀬川 東九条

超京都

ながれ  
ながれて

from February 4 to 6, 2022

MATSUO MEGUMI+  
VOICE GALLERY pfs/w



市街地を流れる川には、焼き物の欠片が沈んでいることがあります。それらは、土に還ることのない半永久的なゴミといえますが、かつての持ち主や流れ着いた物語をかきたてる魅力的な存在でもあります。

本プロジェクトは、川が繋ぐ文化・時間・人を想像しながら、川底の陶片を新たな形へと蘇生させる試みです。

2021年初夏から、東九条地域の高瀬川の陶片を収集しました。それらは、川清掃をされる有志の方々が、他のゴミや生い茂る草の中から丹念に取り除けてくださったものです。食器や人形の破片、タイル、磚子など、形も時代もさまざまな陶片は、それぞれの由来から解放され等価に入り混じっていました。泥や水コケを洗い落とし、ひとつずつ確かめながら、陶土に埋め込んだり、つないだり、釉薬で装飾し、約1260℃で、1回または2回、焼成しなおしました。模様や色が残ったも

の・鮮明になったもの、溶けてくっつきあったものなど、陶片群は、別の集合体になりました。

△芸術計画超京都▽は、2018年より東九条地域や周辺の芸術・表現に関わり、地域の未来が芸術の可能性と共にあるようにと願ってきました。が、地域では、その歴史や文化と関わりのない△芸術▽による開発が進められるのではないかとという不安の声が聴こえてきます。芸術は、世界を一変させようとする強引な行いや考えなどではなく、川底の陶片のようにやさやかな日常や物語から立ち上がり、あらゆる個人の現実と共にある想像力や創造性に基づくものではないのでしょうか。

本展では、記憶を内包して蘇生した陶片と△言葉▽を展示します。展示終了後の△新しい陶片▽は、川が象徴する文化・時間・人を伝えるツールとして、いろいろな人のもとへ届けたいと考えています。

